



Weekly Report



クラブ会長テーマ 理想は広く大きく…行動は地道にしっかりと

2005-2-2 第684回例会 NO. 15-27 2005-2-16 発行

◎司会 SAA委員会 加藤喜三郎

◎点鐘 会長 菊池 敏

◎国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 村上 久

◎お客様紹介 会長 菊池 敏

・古街道研究家・歴史古街道団団長

宮田 太郎 様

◎会務報告 会長 菊池 敏

・「2月～3月例会予定」のとおり、来週の例会は、2月10日(木)、11日(金)の地区大会に振り替えられます。地区大会の開催場所、交通の案内もこの予定に記載されています。

◎幹事報告 幹事 田島真由美

・配布：ロータリーの友／ガバナー月信／抜粋のつづり
・他クラブ例会変更：東京たまがわRC
・回覧：東京多摩RC週報／ロータリーの物語を人々に伝えよう(CD付、ご覧になりたい方は事務局まで)／Rotary World／歴史ロマン古道ニュース(お客様の宮田様のところで発行しているものです。色々なイベントが書かれております。よくご覧になってご利用下さい。)

◎次年度会務報告 次年度会長 北村 幸彦

・本日、例会終了後、被選理事会を事務局で開催予定。次年度役員、理事は、要出席のこと。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 四條 公康

・会員総数 43名
・出席義務者数 42名(出席免除者1名)
・出席者数 31名
・欠席者数 11名(事前MU2名)
・出席率 78.57%

・欠席者：足立潤三郎、赤尾 恭雄、大松 誠二、平野 行廣、小林 正、小泉 博、澄川 昇、高野 範城、津守 弘範、海野 榮一、御船 哲

・補填MU：赤尾 恭雄 1/31 地区役員打合せ
澄川 昇 1/26 理事会

1/19 最終訂正出席率 81.40%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 小林 和夫

菊池 敏 宮田様、卓話楽しみにしていました。
田島真由美 宮田様、先日の卓話とても楽しかった！今日も楽しみにしています。

由井 眞司 寒いので身体にお気をつけ下さい。
伊藤 英也 宮田様の卓話楽しみに致しておりました。
遠藤 二郎 なんとなく、ニコニコ
杉野志保子 今日も・・・

伊澤ケイ子 ロータリー財団寄付1人100ドル達成がまだまだです。どうぞご協力お願い致します。
北村 幸彦 大雪の中から出てきました。東京は暖かくていいですね。ゴルフも出来ず、腕がさびてしまいました。

萩生田政由 宮田様、卓話宜しく願いいたします。
杉田 誠 「誕生祝」ありがとうございました。
関岡 俊二 宮田太郎様、二回目の卓話宜しく願いします。

小林 和夫 人生色々ダケドヤッパリオモシロイデスヨネ。



本日の合計¥14,000 (累計¥581,730)

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】菊池 敏 【幹事】田島真由美
【クラブ会報委員長】小田泰隆 【副委員長】加藤喜三郎
【委員】田中 賢・小成章員・足立潤三郎・杉野志保子・小泉 博・内田 谷

◎親睦活動委員会 委員長 小坂 一郎

・親睦委員は、2月16日の例会前に「デュエット」で、花見の日時、場所等の打ち合わせをしますので、集まって下さい。

◎会員増強委員会 委員長 遠藤 二郎

・今年度は、会員1人が1人を推薦という方針で臨みましたが、上半期は、半数以上の方の推薦がありませんでした。下半期は、よろしく願います。推薦された方の入会については努力していますが、実績が上がらない状況です。本日の例会終了後、反省と今後の方針を検討するため「デュエット」で委員会を開催しますので、増強委員の方はご参集下さい。

◎3RCチャリティゴルフ大会 実行委員 内田 吾

・既に連絡してあるとおり、3クラブ合同のチャリティゴルフ大会が2月24日に開催の予定ですが、今のところ、当クラブの参加者は、14-5名に止まっており、予定の50名にはほど遠い現状です。ゴルフをする方はもちろんしない方も参加者を募って頂くよう願います。(尚、菊池会長からも同趣旨の依頼がされた。)

◎卓話

『多摩古道とよこやま道の大きい魅力とロマン』

古道研究家 歴史古街道団団長 宮田 太郎様



・多摩よこやまの道

多摩よこやまの道は、当初、多摩ニュータウンの境界線として、線路上にフェンスを設置し、その管理のためにそれに沿って道路を作る計画であったそうです。それが、一時中断し、7、8年前に計画が再燃したときに、健康ブームも手伝い、フェンスではなく、ウォーキング道路を造ることになり、聖ヶ丘から唐木田まで約7.5kmの、現在の多摩よこやまの道が完成しました。まもなく、更に南大沢まで2kmほど延長され、合計9.5キロメートルとなる予定です。よこやまの道は、去年の12月、「美しい日本歩きたい道500選」の1つに選ばれました。東京で選ばれた14箇所のうち、玉川上水、高尾の道の次くらいの人気ではなかったかと思います。私は、7.5キロメートルが完成間近の頃、この道の歴史について意見を求められ、40箇所ほどに地図と説明文を付した看板を立てました。これらの説明文は、考古学的な成果に基づいています

が、私は、歴史のロマンという観点をそれに付加しております。別の機会に、同じような話をしたり、文章を書いたりもしています。

・義経・弁慶伝説

多摩よこやまの道を通る多くの歴史古街道があることは、前回お話しいたしました。この古街道群が通っている、北は府中の大国魂神社周辺を含む多摩川、南は小田急線、東西は読売ランド周辺、唐木田周辺を通る南北の直線で囲まれた区域に、30箇所も義経、弁慶伝説が集中しています。義経研究の権威である東北大学の高橋教授の著書「義経伝説」(中公新書)によりますと、義経は少なくとも3回多摩丘陵に足跡を残しております。ところで、この時代の歴史書である「吾妻鏡」には、義経に関し、頼朝との対面、平家の追討後のことは記載されていますが、対面から追討までの3年半余りの間の記述なく、いわば空白の期間となっています。この間、義経は何をしていたのか。私は、高橋教授の著作や多摩に残る伝説から、この間、義経は、弁慶と共に平家を追討し、源氏の天下を打ち立てる目的で、関東の武士の協力を取り付けるための工作活動(諜報活動)に従事していたのではないかと考えています。もし、そうだとすると、多摩ニュータウン(多摩丘陵)周辺がその重要な活動拠点だったに違いありません。当時、大国魂神社に武蔵の国府が置かれていましたが、この近くを奥州平泉に至る奥州街道が通っていました。この街道の南側に多摩丘陵が位置しています。このころはジャングルで、工作活動をして逃げ込むには、絶好の場所でした。これを裏付けるように、上述のとおり30もの義経、弁慶に関する伝説があります。その詳細は、別に配布した地図と説明文を参照してください。鎌倉時代の歴史も見直される可能性もあり、大いにロマンをかき立てられるのではないのでしょうか。

・縄文黒曜石ロード、古代東海道

前回もお話ししましたが、八ヶ岳が原産地である黒曜石(あるいは勝坂式縄文土器)が多摩丘陵でも多量に発見されることから、古代に八ヶ岳と多摩丘陵を結ぶ、古街道があったと考えられます。加えて、私は、多摩丘陵にこの黒曜石と多摩の物産を交換する市場があったと考えています。また、都に通じる古代の東海道があったこともほぼ確実です。この詳細は、前回の話と別に配布した資料を参照してください。

・注記(週報担当者小田)

宮田氏の卓話は2回に渡り行われたが、内容が実に豊富で、週報に要約することはページ数の関係上不可能であった。興味のある方は、テープを聴くなり、席上配布された資料を熟読玩味してください。担当者は、壮大な、夢に満ちた物語のような世界に目を開かれる思いがしました。

◎お礼と点鐘

会長 菊池 敏

(今週の担当 小田 泰機)